動物看護師養成専門学校
情報共有･意見交換の会

2016年3月7日

東京大学農学部1号館8番

一般社団法人　全国動物教育協会
動物看護師国家資格化検討推進協議会

式次第

1.主催者挨拶　一般社団法人　全国動物教育協会
会長　下薗　恵子

2.ご来賓挨拶　公益社団法人　日本獣医師会
専務理事　境　政人様
「認定動物看護師公的資格化関連業務ロードマップについて」

3.ご来賓挨拶　一般財団法人　動物看護師統一認定機構
機構長　佐々木伸雄様
「統一認定機構　一般財団化披露と今後の統一認定に関して」

4.平成28年度統一試験スケジュールについて　統一認定機構事務局

5.高位平準化教育
①機構審査概要「2015年度受験可能校審査結果報告　」　統一認定機構　資格認定委員会
「今後の展望」　委員長　坂元　祥彦
「学び直しについて（学習ユニット版）」

②コアカリキュラム検証改善について　統一認定機構　コアカリキュラム検討小委員会
副委員長　山下　眞理子

6.質疑応答

7.閉会の辞

1. 主催者挨拶

動物看護師国家資格化検討推進協議会

一般社団法人　全国動物教育協会
会長　下薗　惠子

学校法人　シモゾノ学園

＊　日本獣医師会　　動物看護師公的資格化関連業務ロードマップ

＊　統一認定機構　一般財団移行について

試験について

＊　高位平準化

☆　コマシラバス

http://tokyo.iac.ac.jp/

http://www.zendoukyou.com/

☆　自己点検･評価と公表　（⇒　第三者評価）

☆　学び直し

☆　コアカリキュラム検証と改善について

２. 来賓ご挨拶

公益社団法人　日本獣医師会

専務理事　　境　政人様

Topic

日本獣医師会 専務理事 境政人先生インタビュー

認定動物看護師の公的資格化に向けたロードマップを作成

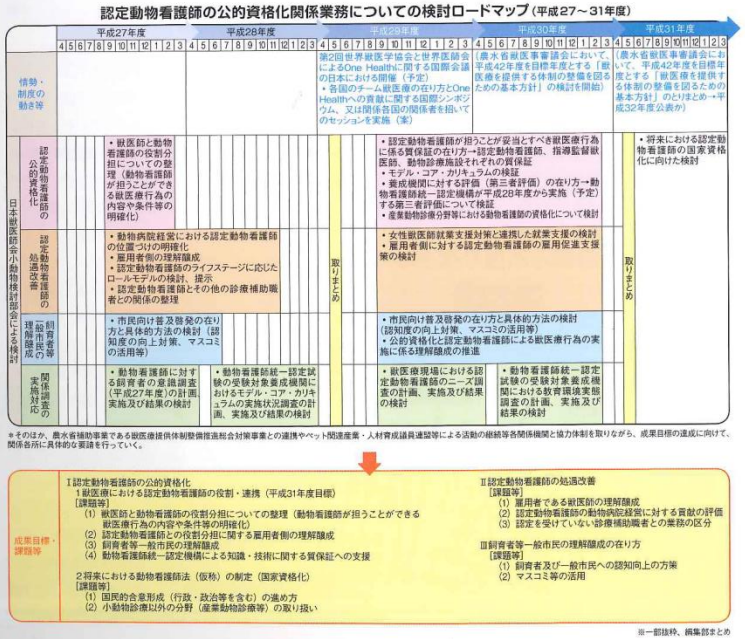
平成27年10月、公益社団法人 日本獣医師会は、全国獣医師会会長会議の場にて、「認定動物看護師の公的資格化関係業務についての検討ロードマップ（平成27年～31年度）」（以下、ロードマップ）を提示しました。これまで検討が重ねられてきた動物看護師の公的資格化に向けて具体的な道筋が示されたことになり、獣医療業界にとって大きな前進といえます。編集部では、そのロードマップの詳細と課題等について独占取材を行いました。

インタビュアー：as編集部

動物看護師の公的資格化に向けたロードマップ作成への経緯

――これまでの公的資格化に向けた検討状況と今回のロードマップ作成に至った経緯を教えてください。

本会では、昭和62年から委員会を設置し、動物看護師の公的資格化について検討を重ね、多くの成果を挙げてきました。そうした中、ロードマップ作成に至った経緯としては、本会の藏内勇夫会長の言葉に「日本獣医師会が解決すべき課題については、まずビジョンとミッションを明確にしてグランドデザインを描いた上で5年程度のロードマップを作成してスピーディに解決を図る」というものがあります。チーム獣医療提供体制の整備を図るためには、動物看護師の公的資格化の実現が重要なため、それを具現化するために、ロードマップを作成しました。ただし、このロードマップは、記載された項目がこの通りに実現できると保証するものではありません。あくまでも動物看護師をはじめとした関係者がそれぞれの立場で目標に向かって努力すべき道を示した



＊そのほか、農水省補助事業である獣医療提供体制整備推進総合対策事業との連携やペット関連産業・人材育成議員連盟等による活動の継続等各関係機関と協力体制を取りながら、成果目標の達成に向けて、関係各所に具体的な要請を行っていく。

※一部抜粋、編集部まとめ

公益社団法人
日本獣医師会

専務理事
境　政人様

インタビュー記事

Interzoo　as

1月号　掲載

２. 来賓ご挨拶

一般財団法人　動物看護師統一認定機構

機構長　　佐々木　伸雄様

統一認定機構からのお知らせ

2016年2月1日　　一般財団法人　動物看護師統一認定機構　設立

目的＞　この法人は、動物看護師の知識・技術の高位平準化、動物看護師認定のための教育レベルの向上、全国統一試験の実施ならびにその資格設定を行い、もって適切な獣医療の提供体制の整備に寄与することを目的とする。

事業＞　（1）認定動物看護師の全国統一試験に関する事業
（2）認定動物看護師の資格認定に関する事業
（3）動物看護学に係るセミナー、講習会等に関する事業
（4）動物看護師教育の質保証・向上に関する事業
（5）その他この法人の目的を達成するために必要な事業
前頁の事業は、本邦国及び海外において行うものとする。

構成＞　評議員　代田　欣二、滝口　満喜、村中　志朗
理事　小西　恭一、坂元　祥彦、櫻井　富士朗、下薗　惠子、砂原　和文、中山　裕之、原　大二郎、古川　敏紀、矢部　眞人、山﨑　薫、横田　淳子
機構長　佐々木　伸雄
監事　近江　俊徳、酒井　健夫

設立団体＞　一般社団法人　日本動物看護職協会、公益社団法人　日本動物病院協会、特定非営利活動法人　日本動物衛生看護師協会、一般社団法人　日本小動物獣医師会、日本動物看護学会、全日本獣医師協同組合、全国動物保健看護系大学協会、一般社団法人　全国動物教育協会、公益社団法人　日本獣医師会

統一認定機構からのお知らせ

各委員会目的

資格認定委員会	主として専修学校の教育内容から、統一試験の受験の可否を検討する。 学び直しを含め、様々な分野からの受験制度の確立及び、受験希望者の受験資格の可否を判定する。
試験委員会	統一認定試験全体に関する事項を検討する（主として試験運営、試験問題の策定、理事会にかける合否判定結果の審議など）。 試験問題策定小委員会はそのまま試験委員会の下部委員会として設置。
試験問題策定委員会	毎年の試験問題の作成依頼、問題の選抜ならびに修正。
教育評価委員会	主として専修学校における動物看護師教育に関する質保証のために実施するための第三者評価のあり方、内容、実施方法などを検討する。また必要に応じて、大学における動物看護師養成課程に関しても、その内容や評価方法等に関して検討する。
カリキュラム検討委員会	動物看護師養成専門学校における機構が推奨するコアカリキュラムとの内容や科目名などを含めたすり合わせを行う。

２. 来賓ご挨拶

一般財団法人　動物看護師統一認定機構

事務局　安村様

統一認定機構からのお知らせ

2015年度試験実施報告
　受験者数　　2489名
　試験会場　　11都市

2016年度試験　通知
　試験日程　　2017年3月5日（日）
　試験会場　　2015年度同様に11都市を予定
　＊詳細は2016年3月10日（木）に統一認定機構HPにて公表

その他の予定
　＊2017年度試験（2018年3月実施予定）からの受験料は税込12,580円、
　　2018年度は税別15,000円に改訂予定
　＊2012～2014年度試験不合格者の再受験は2017年度試験までとする。

認定申請手続きの期限＞
　＊2011～2014年度試験および書類審査受験の合格者の認定申請手続きの
　　締切は2017年4月末とする。
　＊2015年度合格者からは受験した年の3年後の4月末までとする。

５．高位平準化　①

＊　コアカリキュラム審査報告

＊　今後のコアカリ実施の審査

＊　学び直し

一般財団法人　動物看護師統一認定機構
資格認定委員会　　坂元　祥彦

宮崎ペットワールド専門学校

機構における学校評価ガイドライン＜案＞

文部科学省
ロードマップ

文部科学省	コアカリキュラム審査ワーキンググループ（資格認定委員会）	
専修学校設置基準	第１段階	・設置基準→学校概要書、職業実践専門課程の確認 ・機構推奨のコアカリキュラムを行っているか→カリキュラム変更届け（学事課） ・科目名称の確認→カリキュラム表（新旧対照表）と科目名称読替え表 ・カリキュラムの公表
	結　果	・2015.4.17　第１回コアカリキュラム審査会　１４名 ・2015.5.15　第２回コアカリキュラム審査会　１４名 大学：６校、専修学校６８校、その他２校
自己点検評価 ・実施・公表は**法律上の義務**	第２段階	・文部科学省のガイドラインに沿った形で、自己点検評価を適切に実施しているか、結果を公表しているか ・自己点検評価の**エビデンス（適切性）**
		・**ロードマップとの適合性**
学校関係者評価 ・実施・公表は**法律上の努力義務** ・「職業実践専門課程」認定校は**義務**	第２段階	・学校関係者評価の成果・効果**（改善）** ・業界との連携
		農林水産省獣医療提供体制整備推進総合対策事業 ・モデルコアカリキュラムの実施状況調査（平成２８年度） ・獣医師法第１７条の**適用範囲拡大要請**（平成２９年度）
第三者評価 ・実施は**任意**	第３段階	・機関別評価、分野別評価→職業実践専門課程質保証事業による検証継続
		農林水産省獣医療提供体制整備推進総合対策事業 ・受験対象養成機関における教育**環境整備実態調査**

機構における学校評価項目要素　＜案＞

	職業実践専門課程 動物系専門学校で複数の学科がある	自己点検＋公表	
		動物系単体で複数の学科がある	総合学校で動物系学科コースを設置
機関別評価 教育理念・目標、学校運営、学生支援、学生受け入れ募集、財務、法令等の順守	◎	○	△
分野別評価 教育活動、学習成果、教育環境、社会貢献・地域貢献（学びなおし）	◎	○	

学校関係者評価を経て機構評価

自己点検評価を経て機構評価

コアカリキュラム実施のための教育体制を審査

機構における評価員（評価者の質担保）

機構役員→日本獣医師会
大学・職能団体→全国動物保健看護系大学協会、5団体
専門学校→内部質保証人材養成講座、第三者評価審査員養成講座修了者

機構審査と文部科学省委託事業予定

	文部科学省　委託事業内容	機構審査/年度	27	28	29	30	31
25年度	コアカリキュラム作成						
26年度	コアカリキュラム　コマシラバス作成	コアカリ審査申請					
27年度	コアカリキュラム検証（教員研修） コマシラバス　ユニット化 質保証　機関別評価実証 分野別評価項目検討 評価者養成研修	コアカリ確認審査 （書類審査）	○	○			
28年度	学びなおし事業（動物病院勤務対象者） コアカリキュラム検証委員会 質保証　機関別評価実証 分野別評価実証 評価者養成研修	自己点検・公表 エビデンス審査		○	○		
29年度	学びなおし事業（教育機関指定）実証 （受講料負担軽減） コアカリキュラム検証員会（未定） 質保証（未定）	学びなおし教育機関審査 コアカリ確認審査					
30年度	新コアカリキュラム導入（予定） 質保証（未定）						

５．高位平準化
②　コアカリキュラム検証と改善

一般財団法人　動物看護師統一認定機構
コアカリキュラム検証委員会

山下　眞理子

学校法人　シモゾノ学園

コアカリキュラム検証と改善

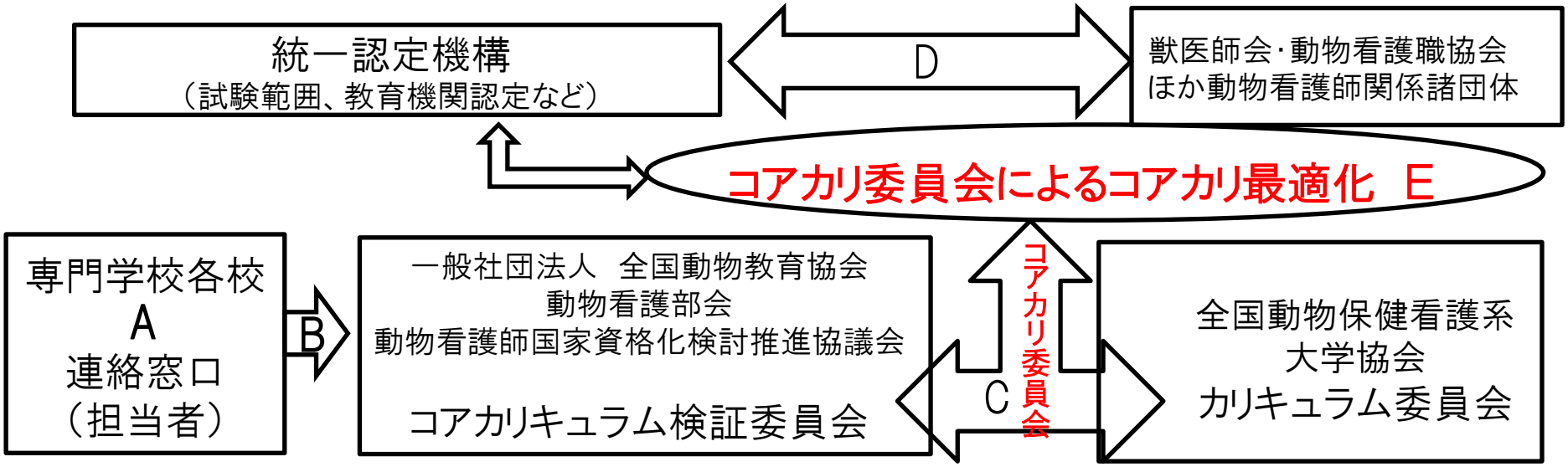
専門学校コアカリキュラム検証委員

	氏　名	所属専門学校名	
1	山下　眞理子	国際動物専門学校	1
2	若松　あゆみ	宮﨑ペットワールド専門学校	2
3	浅井　知花	大阪ペピイ動物看護専門学校	3
4	田坂　安佳音	国際ペットワールド専門学校	4
5	田上　真紀	穴吹動物専門学校	5
6	関　智恵子	大阪ECO海洋動物専門学校	6
7	門田　英敏	北海道エコ･動物自然専門学校	7
8	横山晴美	名古屋コミュニケーションアート専門学校	8
			校

※　今後、若干名の追加がある見込み

9	田中　絢子	YIC京都ペット総合専門学校	9
10	猪野　亜里沙	宮﨑ペットワールド専門学校	2
11	本山　陽子	河原アイペットワールド専門学校	10
12	沓名　竜佑		
13	式　薫	神戸ブレーメン動物専門学校	11
14	大場　真由美	アジア動物専門学校	12
15	柚木　芳雄	群馬動物専門学校	13
16	竹田　明子	京都動物専門学校	14
17	池田　麻美	吉田学園動物看護専門学校	15
18	関　繭子	専門学校ちば愛犬動物フラワー学園	16
19	鈴木　麻未		
20	青柳　紘枝		
21	吉田　聖	盛岡ペットワールド専門学校	17
22	戸田　典子	湘央生命科学技術専門学校	18
23	佐藤　元紀		
24	芳賀　美咲	愛知ペット専門学校	19
25	與那原　美奈子	沖縄ペットワールド専門学校	20
26	齋藤　友貴	専門学校ビジョナリーアーツ	21
27	河野　希美		
28	吉澤　芽具美	日本動物専門学校	22
29	栗島　みゆき	国際動物専門学校	1
30	西依　ひとみ	国際動物専門学校	
31	岡野　剛	専門学校未来ビジネスカレッジ	23
32	小崎　直一	岡山理科大学専門学校	24
33	西家　忠治		
34	奥田　宏健		
35	大内　紀章		
36	佐藤　絵里砂	大宮国際動物専門学校	25
			校

＊　コアカリ検証・改善工程イメージ図　＊



＜専門学校群　コアカリ検証・改善活動　予定＞

2015年6月～	コアカリ検証委員会　　委員募集
11月～	各校　意見交換・連絡窓口募集
2015年度末	コアカリ検証委員の担当教科振り分け 2014年度実施の1年生対象教科検証
2016年度前期	各校からの意見提案集収 2年間実施したコアカリ教育全体の検証 ＊教科構成の是非 ＊時間配分の是非 ＊コアカリ全体の是非 ＊科目概要・シラバスの是非 ＊職域に対応できる教育の検討 ＊大学とのすり合わせ
2017年度	見直しされたコアカリ実施 コアカリ継続検証・改善

A　コアカリ教育実施

B　各校実施における改善提案

C　大学カリキュラムとすり合わせ
- ★　科目（科目名称を含む）
- ★　シラバス
- ★　時間数（単位数）
- ★　その他改善必要事項

D　動物看護師職域・待遇の明確化

E　コアカリ最適化
（専門学校・大学共通カリキュラム）

コアカリ検証・改善　参考資料
＜各校　コアカリ教育実施からの意見徴収＞　※　近日配信

☆　高位平準化達成のための取組　☆

所属教科（授業科目）例	参考時間数	改善時間数	学修学年	含まれるもの（内容）例	キーワード（履修項目）	改善提案事項	理由
動物形態機能学	150			概論	細胞の構造（染色体）、細胞組織、遺伝様式、体液と尿、生体恒常性		
				比較解剖学	皮膚、筋・骨格、脳と神経、感覚器、循環器、呼吸器、消化器、内分泌とホルモン、生殖器、歯		
				血液学	血液成分と働き		
				免疫学	免疫機構、免疫細胞、輸血と移植の免疫、動物種による免疫		
				形態機能	臓器（卵巣、子宮、精巣含む）の形と機能		
動物病理学	30			病理学概論	発病のメカニズム、変性、化生、委縮、肥大、過形成、浮腫、炎症、腫瘍		

教員講習会
教員向け「コアカリ検証と改善の共有会」

2016年3月15日　火曜日　東京駅前会議室カンファレンス

＜第1部＞　　13時～15時30分　　講習会

「猫の看護」　　講師：石田卓夫先生

＜第2部＞　　セミナー終了後～17時30分終了

コアカリの検証と改善について具体的工程を共有

６．質疑応答

7. 閉会の辞

動物看護師養成専門学校のこれから

＊　高位平準化　＊

☆　コアカリキュラム検証と改善

☆　教育の質と基準の向上

☆　教育研鑽　＝　教員研修　　3月15日

8月22日

動物看護師国家資格化検討推進協議会　活動費　協力のお願い

動物看護師国家資格化検討推進協議会
平成28年度　活動費　協力のお願い

活動費　　**￥30，000円**　　**（平成28年4月1日～平成29年3月31日）**

納入期日　　**2016年4月末**

振込口座　　**三菱東京UFJ銀行　恵比寿支店**

普通口座　0237759

動物看護職養成高位平準化対応連絡協議会　世話人下薗　恵子

（ﾄﾞｳﾌﾞﾂｶﾝｺﾞｼｮｸﾖｳｾｲ　ｺｳｲﾍｲｼﾞｭﾝｶ　ﾀｲｵｳ　ﾚﾝﾗｸｷｮｳｷﾞｶｲ　ｾﾜﾆﾝ　ｼﾓｿﾞﾉｹｲｺ）

活動計画　：　コアカリ検証　　年数回開催